

CASBEE-建築(新築)2016年版
 大黒天物産株式会社 関西RMセンター新築工事 商品開発課

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40			2.7
1 音環境		4.0	0.15	3.2	1.00	3.5
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		5.0	0.50	3.5	0.50	
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr=50		-	4.0	0.20	
1.3 吸音			-		-	
2 温熱環境		1.6	0.35	2.4	1.00	2.0
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		1.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.0	0.25	3.1	1.00	2.6
3.1 昼光利用		2.4	0.30	2.5	0.30	
1 昼光率		2.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口			-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	カーテンと庇の2種類を組み合わせるグレアを制御している	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		1.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
Q2 サービス性能			0.30			2.9
1 機能性		2.5	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレの壁は防汚性の高い仕上げ材	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位3種類の2種以上にBを使用し、Eは不使用	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-	
2.4 信頼性		2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.8	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			3.0	-	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.0m以上		-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11		-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー				0.40			3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BE][BE _{lm}] = 0.95	3.5	0.50		-	3.5
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.1
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60		-	3.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地により躯体と仕上材、内装材と設備が容易に分別できる	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		LCO2排出率抑制	3.1	0.33		-	3.1
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	調整池を計画	4.0	0.25		-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70		-	
2	壁光の建物外型による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	